## 漁業労働力の総合的な把握について

- 労働力の総合的な把握のためには、個人経営体と団体経営体で統一的な調査項目の設定が必要。
- これまで個人経営体の世帯員のみ把握してきた男女別、年齢階層、海上作業従事日数、海上作業従事日数が最も多かった漁業種類等について、団体経営体の一定の者についても把握する必要。



## 調査票の設定イメージ

・ 個人経営体の世帯員と同様に、団体経営体の一定 の者について、次のイメージの調査項目を設定。

						業を含みます。)(自家漁業の陸上作(自家漁業の従事日数			の海上作業日数			種類種類の海上作業										
性別 出生の年月																						
男女	ā	亥当す を記	る元· 記入し	号と てく:	出生のださい	の年月 い。	1		□□釵		<b>数</b> 木		1位		2位		立	3位		ż		
1			2				3			4		5		6		7						
いずれか に記入	大正	昭和	平 成	4	Ŧ		月	該	当す		に日数を記入 日)			全国漁業種類番号を記入								
0 0	0	0	0	1	1	1	:	1	:	:	:	1	1	1	1	:	1	÷	1	1	:	:
0 0	0	0	0	1	1	:	:	1	:	:	:	1	1	1	1	:	1	:	1	1	:	:

## 課題

- 団体経営体における「一定の 者」の範囲と定義付け(特に養殖 業)。
- ・ 大規模団体経営体にあっては、 一定の者に該当する者が多数に及 ぶことがあり、この場合の補助票 等の活用に対する記入者負担に配 慮する必要がある。

## 2013年漁業センサスにおける労働力に関する調査項目一覧(海面漁業経営体調査)

個人経営体	団体経営体							
1 過去 1年間に漁業を行った世帯員の漁業従事状況(1日でも漁業に従事した人)  ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧  平成25年11月1日現在の満年齢 男女の別 海自 漁10 自 漁5 間 自 漁5 間 自 漁5 に行う を は まままままます。 第月 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	なし							
② <u>11月1日現在</u> の海上作業に <u>雇った人数</u>	② <u>11月1日現在</u> の海上作業に <u>従事した人数</u>							
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦  計 日本人 居 住 地 ううち、過去1 年以内に漁業 か 国 人 の 県 内 県 外 を始めた人	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦  計 日本人 居 住 地 うち、過去1 年以内に漁業を始めた人  201 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :							
③ <u>11月1日現在に<mark>雇った</mark>日本人</u> のうち、過去1年間に <u>30日以上海上作業を行った人数</u>	③ <u>11月1日現在に<mark>従事した</mark>日本人</u> のうち、過去1年間に <u>30日以上海上作業を行った人数</u>							
海上作業を 行った人数	お上作業を   うち、居住地が   男 女   男 女   男 女   日本							
④ <u>過去1年間</u> の漁業の陸上作業について、 <u>最も盛んな時期に<mark>雇った</mark>人数</u>	④ <u>過去1年間</u> の漁業の陸上作業について、 <u>最盛期に<mark>従事した</mark>人数</u>							
231       計       : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	231 計 : : : : 232 男 : : : : 233 女 : : : :							